

# 市民が一体となった 新しいまちづくりに向けて

子どもから大人、お年寄りまで  
あらゆる人々の想いや心を大切に、  
住んで良かった、住み続けたい、  
そんなまちづくりが、いま、はじまります。

JR仙石線の8つの駅。  
三陸自動車道路の3つのインターチェンジ。  
国道45号。  
3本の交通の大動脈が市内を縦貫する東松島市は  
交通環境が至便のまち。

自然が育んだ奥松島の絶景。  
農産物と海産物が全部そろったこだわりの食材。  
みんなが楽しめる、温水プール、図書館、縄文村などの施設の数々。  
市民の心を一つに合わせて  
「心輝き 自然輝く 東松島」



## 東松島市 2005年(平成17年)4月1日に合併し誕生

東松島市は、矢本町と鳴瀬町が合併し新設合併で誕生した市です。  
宮城県東部に位置し、仙台市から北東に約30キロメートルの距離にあり、東に石巻市、西に松島町、北に美里町に接し、南側は太平洋に面しています。  
面積は101.86平方キロメートルで、気候は年間平均気温が約11度、年間降水量約1000ミリ、風速は最大14メートル程度、降雪も少なく、東北地方では比較的温暖で、風雨の少ない地域にあります。

市の東部は、肥沃な田園が広がる平坦な地形、中央部には四方を一望できる桜の名所「滝山」を中心とする丘陵地。西部は、一級河川鳴瀬川・吉田川が太平洋に注ぐとともに、南西部には風光明媚な日本三景「松島」を抱え、変化に富んだ自然が織りなす美しい景観を有する市です。  
2011年(平成23年)3月11日に発生した東日本大震災では、本市も甚大な被害を受け、特に人的な被害では死者1109人、行方不明者25人(平成26年3月1日現在)と大変大きな被害を受けました。  
そのため、震災後の人口変動は大きく、人口42,903人(平成22年度国勢調査)に対して、震災後の平成26年3月現在では40,193人となり震災前に比べ2,710人と大きく減少しています。



7つの心がキーワード